

[3] 母校だより

(1) 京都大学地球系教室および関係教室の近況

(a) 社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻の近況報告

都市社会工学専攻長 中川 大

昭和54年卒業の中川大でございます。大学の近況報告をさせていただきます。時間が押しているようですので、要点を絞って、お話をさせていただきます。



社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻の二つの専攻については、これまでの総会ではそれぞれが近況報告をさせていただいておりましたが、実際には、この2専攻は教育面においても研究面においても、密接に連携をしております。ほぼ一緒に運営をしておりますので、一緒に説明をしたほうがわかりやすいと思われますことから、本年はまとめて近況報告をさせていただくことにしました。私は都市社会工学専攻の専攻長をしております。

(スライド1) まずは、桂キャンパスの状況からお話させていただきます。写真に「C」という字が書かれていますように、我々は桂キャンパスのCクラスターにいます。季節ごとの花も咲いていまして、きれいなキャンパスが保たれていると考えております。

専攻の名称などの変遷については、これまでの総会でもご説明させていただいておりますので、きょうは簡単にお話をさせていただきます。現在、学部の方は地球工学科とい

う名前です。大学院は社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻の二つになっています。2006年に桂に移転いたしましたので、本年でちょうど10年になります。我々が移ったあとに機械系なども入居しており、Cクラスターには現在C1棟からC3棟までが建っています。

(スライド2) 次のスライドでは、建物の内部の写真をいくつか紹介させていただきます。まずは建物のエントランスや内部の標識です。建物の中には綺麗な館内の案内図なども設置していただいています。トイレの入り口なども写っておりますけれども、10年たっている割には、トイレの中も非常にきれいに保たれている状況だと感じております。

各研究室の前には、研究内容を紹介するディスプレイが置かれていますので、それぞれの研究内容を外からも知ることができます。廊下には、パネル1枚ぶんのポスターも並べておりまして、各研究室の研究内容が並んでいます。それらの前を歩いていただきますと、専攻全体の研究概要がわかるようになっていきます。

(スライド3) 次のスライドは講義室や研究室です。左上が講義室で、講義や会議のための機械類が充実しております。普段は講義をしておりますけれども、学会や講演会、研究会その他にお使いいただくこともできます。何かご用命があれば、我々に言っていただければ、使用していただくことができます。

桂キャンパスはとても遠いという話も時々聞きますけれども、実は京都駅から公共交通で35分から40分ですので、

桂キャンパスC1棟

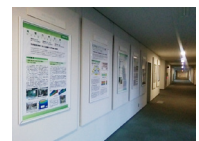
エントランス



エントランス



エントランス・内部

廊下・共用空間
館内案内図等廊下・共用空間
研究室前・研究内容展示廊下・共用空間
研究内容パネル展示

桂キャンパスC1棟

講義室



教員室



共用スペース



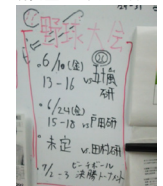
研究室内



研究室内



研究室内(野球大会掲示)



本日の会場の吉田キャンパスとは京都駅からの時間はほぼ同程度と言える位置にあります。大阪からですと、吉田キャンパスよりも桂キャンパスのほうが近いので、いろいろと活用していただけたらと思います。

その横の写真は私の部屋でございます。机の上が乱雑になっておりますけれども、ほかの皆様は綺麗に使っておられると思います。次は共用スペースです。それから、下段は研究室の中です。乱雑になっているのは昔と同じですが、元気に学生たちが勉強したり交流したりしております。

それからもう一つ、研究室のボードに書いてあったので写してきましたが、「土木野球大会」の案内です。皆様にとっても思い出といえますか、「土木野球大会があったな」と覚えておられる方も少なくないのではないかと思います。私が入ったころからすでにありましたので、もう40年、50年続いていることになるかと思います。いまでも御所のグラウンドで野球大会を開催しています。御所のグラウンドは迎賓館ができて半分程度になっていますが、引き続き御所で学生たちが毎年開催しております。

さて、次の2つのスライドは、現在の在籍メンバーのリストです。社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻のそれぞれです。ここでは土木系の先生のみを挙げております。専攻内にはこのリスト以外に資源系の先生もおられまして、資源系の先生とともに専攻を運営しています。

次の2枚のスライドは、この1年間の異動のリストです。教授の先生としては田村正行先生と谷口栄一先生が定年で

社会基盤工学専攻 人事異動 (H27.6-H28.5)

- 採用**
 - H27.6.1 張 凱淳 特定助教
(インフラ先端技術共同研究講座)
 - H27.10.1 伊藤部 勉 特定准教授
(災害リスクマネジメント工学講座
(JR 西日本寄付講座))
 - 張 凱淳 講師
(構造工学講座 国際環境基盤マネジメント分野)
 - 島生 大祐 助教
(計算工学講座 (学術情報メディアセンター))
 - H27.4.1 奈良 慎太 准教授 (資源工学講座 地盤開発工学分野)
 - 橋本 勝文 特定講師 (インフラ先端技術共同研究講座)
 - 山口 弘誠 准教授
(防災研究所 気象・水象災害研究部門 水文気象災害研究分野, 防災工学講座 (協力講座) 水文気象工学分野)
- 昇任 (なし)**
- 配置換・所属換**
 - H27.10.1 金 哲佑 教授
(地盤力学講座 社会基盤創造工学分野)
構造工学講座国際環境基盤マネジメント分野より
 - H28.4.1 金 哲佑 教授
(地盤力学講座 社会基盤創造工学分野)
国際高等教育院 (工学研究科併任) へ
- 退職**
 - H27.6.30 水戸 義忠 准教授
(H28.3.31 田村 正行 教授 (空間情報工学講座)
飛田哲男准教授 (防災研地盤災害研究部門)
安田 誠宏 助教 (防災研 気象・水象災害研究
海岸防災工学分野)
東良慶助教 (防災研流域災害研究センター,
防災工学講座 (協力講座) 水源地盤工学分野)

都市社会工学専攻 人事異動 (H27.6-H28.5)

- 採用**
 - H27.10.1 松本 理佐 助教
(構造物マネジメント工学講座)
 - H28.4.1 林 為人 教授
(ジオマネジメント工学講座
環境資源システム工学分野)
 - H28.4.1 澤田 美伊 助教
(ジオマネジメント工学講座
ジオフロントシステム分野)
- 昇任**
 - H28.2.1 大西 正光 准教授
(都市社会計画工学講座
計画マネジメント論分野)
防災研究所附属巨大災害研究センターへ
- 配置換・所属換**
 - H27.6.1 PIPATPONGSA Thirapong 准教授
(ジオマネジメント工学講座)
地盤力学講座 社会基盤創造工学分野より
 - H28.4.1 宇野 伸宏 准教授 (交通マネジメント工学)
経営管理研究部 (ダブルアポイントメント) より
山田 忠史 准教授 (ロジスティックシステム工学講座)
経営管理研究部 (ダブルアポイントメント) へ
- 退職 H28.3.31**
 - 谷口 栄一 教授 (ロジスティックシステム工学講座)
 - 神田 佑亮 准教授 (交通マネジメント工学講座)
 - 山崎 浩気 助教 (交通マネジメント工学講座)
 - 中村 有亮 助教 (ロジスティックシステム工学講座)
 - 梁 雲峰 助教 (ジオマネジメント工学講座)
charatpangoon buddarak 助教
(地震ライフライン工学講座)
大友 有 特定助教 (大学の世界展開力強化事業)

この3月に退職されています。

専攻の運営に関しては、2専攻が合同でさまざまなことを進めております。カリキュラムにつきましても、若干違いますが、ほぼおなじかたちで運営をしています。

それから、次は皆様がいちばんご関心のあるものかと思いますが、就職の状況でございます。ちょっと文字が小さくなったのですが、ぜんぶ掲載したほうがいだろう考えまして、小さいままで掲示しています。それぞれの年度における職種別の就職人数を掲載しております。各欄の括弧書きの中の数値は、左が学部で卒業して就職する学生、右が修士を修了して就職する学生の数ですが、ほとんどの学生が修士にすすんでいるという状況です。職種別の数を見ていきますと、近年においては、どんどんと減ったり、どんどんと増えたりする職種はないようで、だいたい安定しています。年によって多少の変動はありますが、ほぼ同じかたちで推移しています。

一方、研究・教育面でもさまざまな取りくみを進めています。現在は、なにもしなければ国からのお金はどんどん減っていくという状況です。いろいろな工夫をして研究費を獲得していく努力も必要ですので、さまざまなことを進めています。新しいコースや組織をつくったり、プログラムやプロジェクトなどをいくつも実施したりしています。それぞれのプロジェクト等についてご関心があれば、ご連絡下さい。

特に「国際コース」という、学部の1回生から卒業まで

社会基盤工学専攻 講座・分野(土木系) (H28.06)

講座名	分野名	教授	准教授・講師	助教
構造工学	応用力学		西原 剛 KHAYYER Abbas	
	構造材料学	山本 貴士	高谷 智	
	構造力学	杉浦 邦延	松村 成博	鈴木 康夫
	鋼構工学	白土 博通	安 瑞	
	構造ダイナミクス	八木 知己	高橋 良和	
水工学	国際環境基盤工学	金 哲佑	張 凱淳	
	水環境ダイナミクス	(准) 戸田 金一	山上 康生	岡本 昭明
	水文・水資源学	立川 康人	市川 暹	高 和明
	地盤力学	水村 亮	(准) 水元 小百合	澤村 康生
	社会基盤創造工学分野	金 哲佑		
都市社会工学	空間情報学		須崎 純一	木村 優介
	景観設計学	川崎 雅史	久保田 啓明	山口 敬太
	沿岸都市設計学	後藤 仁志	藤田 英治	五十嵐 洋行

砂防工学	藤田 正治	竹林 淳史 堀 大三	宮田 秀介
防災水工学	中川 一	川地 健司	
地盤防災工学	井合 進		上田 泰平
水文気象工学	中北 英一	山口 弘誠	
海岸防災工学	岡原 肇	森 徹人	
防災技術政策	實 崇	佐山 敬洋	
水源地盤学	平石 智也	馬場 康之	東 良慶・水谷 美樹
計算工学(学術情報メディアセンター)	牛島 省		島生 大祐
災害リスクマネジメント工学 (JR西日本)	杉山 友康	伊藤部 勉	
インフラ先端技術共同研究講座	遠谷 智志	橋本 勝文	

都市社会工学専攻 講座・分野(土木系) (H28.06)

講座名	分野名	教授	准教授	助教
構造物マネジメント工学	(准) 西原 広隆	服部 肇史	松本 理佐	
地震ライフライン工学	(准) 清原 純史	古川 慶子	(准) 奥村 孝弘	
河川流域マネジメント工学	藤田 尚	岸田 肇	吉田 慎一郎	
ジオマネジメント工学	土木施工工学	大津 宏隆	PIPATPONGSA Thirapong	北岡 貴文
	ジオフロントシステム工学	三村 育	鹿俣 剛介	藤田 崇孝
	国際都市計画 (GIS)	(准) FLORES BARROU (准教授) Elanor lo Augusto-Ali Qui Querehi		
都市社会計画学	計画マネジメント論	(准) 小谷 直明	松島 裕也	
	都市地域計画	中川 大	松中 亮治	大庭 智治
都市基盤システム工学	(准) 山田 忠史	中野 孝史 Schnecker Jan-Dirk		中村 徹之
交通マネジメント工学	交通情報工学			
交通行動システム	藤井 雅		宮川 豊由	

都市基盤工学 (協力講座)	野田 純男	後藤 地之	
水文環境工学	堀 智晴		野原 大智
災害リスクマネジメント	ORUZ HAHUMAD, Ana Maria	橋本 崇太	
自然・社会環境防災計画学	角 智也	竹門 康弘 KARTOUSH Samah Ahmad	
都市計画学	五十嵐 亮	米山 直	
地球環境工学 (地盤工学)	藤見 武	松 徹	高井 敬史

就職状況（土木系）H21～H27

	H27年度 (H28.3卒)	H26年度 (H27.3卒)	H25年度 (H26.3卒)	H24年度 (H25.3卒)	H23年度 (H24.3卒)	H22年度 (H23.3卒)	H21年度 (H22.3卒)
学校	2 (0+2)	1 (0+1)	0 (0+0)	2 (0+2)	1 (0+1)	1 (0+1)	3 (1+2)
内閣・各府省	7 (1+6)	7 (2+5)	11 (5+6)	7 (0+7)	8 (0+8)	6 (0+6)	11 (2+9)
独立行政法人	5 (0+5)	5 (0+5)	6 (0+6)	3 (1+2)	2 (0+2)	2 (0+2)	5 (0+5)
道路	10 (0+10)	9 (0+9)	11 (0+11)	6 (0+6)	3 (0+3)	5 (0+5)	6 (0+6)
地方庁	11 (2+9)	4 (1+3)	9 (3+6)	11 (1+10)	14 (1+13)	7 (1+6)	8 (2+6)
電気・ガス・水道	8 (0+8)	14 (0+14)	11 (0+11)	9 (0+9)	13 (0+13)	13 (0+13)	9 (0+9)
鉄道・航空	13 (0+13)	9 (1+8)	9 (0+9)	15 (0+15)	15 (1+14)	17 (3+14)	13 (0+13)
建設	13 (0+13)	18 (1+17)	22 (2+20)	23 (2+21)	17 (3+14)	18 (2+16)	16 (2+14)
鉄鋼・鉄構・機械・電機	15 (1+14)	17 (1+16)	19 (2+17)	10 (0+10)	12 (1+11)	11 (1+10)	12 (0+12)
コンサルタント	12 (1+11)	16 (0+16)	15 (2+13)	8 (0+8)	9 (1+8)	4 (0+4)	9 (0+9)
銀行・商社・証券・保険	6 (1+5)	7 (2+5)	11 (4+7)	8 (0+8)	11 (4+7)	13 (4+9)	8 (2+6)
不動産	1 (0+1)	0 (0+0)	2 (1+1)	0 (0+0)	2 (0+2)	1 (0+1)	3 (2+1)
シンクタンク	0 (0+0)	0 (0+0)	0 (0+0)	0 (0+0)	0 (0+0)	1 (0+1)	4 (0+4)
団体（研究所等）	0 (0+0)	0 (0+0)	0 (0+0)	0 (0+0)	1 (0+1)	1 (0+1)	0 (0+0)
情報通信	15 (0+15)	2 (0+2)	4 (1+3)	5 (0+5)	8 (0+8)	4 (1+3)	9 (2+7)
サービス業・その他	6 (2+4)	5 (0+5)	11 (4+7)	9 (2+7)	7 (1+6)	6 (1+5)	11 (2+9)
海外	1 (0+1)	1 (0+1)	0 (0+0)	1 (0+1)	0 (0+0)	0 (0+0)	1 (0+1)
就職合計	125 (8+117)	115 (8+107)	141 (24+117)	117 (6+111)	123 (12+111)	111 (14+97)	129 (15+114)
進学合計	95 (89+6)	101 (99+2)	119 (105+14)	104 (100+4)	116 (106+10)	112 (103+9)	99 (95+4)
合 計	220 (97+123)	216 (107+109)	260 (129+131)	221 (106+115)	239 (118+121)	223 (117+106)	228 (110+118)

英語の授業だけをとりて卒業できるコースもつくっており、これは大変先駆的な国際教育となっています。また、大学院にもそういうコースを設けていますので、1年生から修士まで、英語の授業だけをとりて修了することができます。工学研究科では我々の専攻だけです、全学的にみても進んだ取り組みとなっています。現在、地球工学科は土木工学コース、資源工学コース、環境工学コース、それに国際コースという4つのコースで教育をしています。

一方、留学生に対しては奨学金など、資金が必要な部分もあります。先程の総会の議案のなかにもありましたように、奨学金についてはいろいろと努力をしていますし、京土会からたいへんご厚意をいただいておりますが、まだまだ支援があればありがたいという状況です。奨学金のための寄付は、随時、個人からも法人からも受け付けております。教室のだれかに言っていただければ対応させていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。

ほかに、「グローバル生存学大学院連携プログラム」や「交通政策研究ユニット」、「大学の世界展開力強化事業」、あるいは「ミャンマーとの交流事業」など、さまざまなプロジェクト・プログラムをおこなってきております。教育における国際化の面においては、工学研究科内のほかの専攻、あるいはほかの研究科と比べて、先頭を走っていると言ってよい内容で運営できていると思います。

そしてもう一点、社会との連携や、社会への直接的な貢献という点においても、この専攻はほかに勝る実績を上げていると考えています。国際化、社会連携、これはもともと土木がもっている重要な分野でございます。こういった面において、工学研究科あるいは全学をリードできるような実績を持ち続けていることができるのも、京土会のOB、OGの皆様の長いあいだにわたるご協力・ご支援のおかげだと心から感謝いたします。

引き続き、これからもご協力、ご指導いただけるとありがたいと思います。とりわけ研究経費のご支援や、共同研究の実施などの面でご協力をいただけるとたいへんありがたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。これで近況報告とさせていただきます。ありがとうございました。

(b) 都市環境工学専攻の近況報告

都市環境工学専攻長 伊 藤 禎 彦

本年度、都市環境工学専攻の専攻長を仰せつかっております昭和59年卒業の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。



都市環境工学専攻関連の近況について簡単にご報告させていただきます。恒例によりまして、人事異動について報告申し上げます。まず定年退職からでございますが、平成28年3月31日付けで大気・熱環境工学分野 松岡譲教授、および放射性廃棄物管理分野 今中哲二助教のおふたりが定年退職を迎えられました。先生方の当専攻への長年のご貢献に大変感謝する次第でございます。新規採用では、平成27年10月1日、鈴木裕織特定助教が環境調和型産業論分野に、平成28年4月1日、日下部武敏助教が環境デザイン工学講座に、井原賢特定助教が環境質予見分野に、矢野順也助教が

環境保全工学分野にそれぞれ採用されております。配置換ですが、本年度、環境安全保全機構・環境科学センターに研究室が創設され、都市環境工学専攻の協力講座のひとつとして安全衛生工学分野が新設されました。平成28年4月1日付けで橋本訓教授が分子工学専攻から就任されました。またその准教授として松井康人先生が、環境リスク工学分野講師から昇任し就任されました。さらに、浅利美鈴先生が、環境保全工学分野助教より地球環境学堂准教授へ配置換になりました。退職・転出では、平成27年10月15日付けで大気・熱環境工学分野河瀬玲奈助教が、滋賀県琵琶湖環境科学研究センターへ異動されました。

これらの人事異動によりまして、現在の都市環境工学専攻関連の教員一覧はご覧のようになっております。表に示しましたように、研究室がひとつ増えて14の研究室で構成しており、桂キャンパスにおります6研究室、黄色の部分は天津市、琵琶湖のほとりにあります流域圏総合環境質研究センターの2研究室、吉田キャンパス内でこの建物の西側にあります環境科学センターの2研究室、さらに、大阪府泉南郡熊取町にあります原子炉実験所内の2研究室で構成しております。さらに、この吉田キャンパス内にございます地球環境学堂に所属しております環境調和型産業論分野およびエネルギー科学研究科のエネルギー環境学分野を合わせ、14研究室、39名の教員で活動しております。このうち、藤井滋穂教授は、2015年度まで地球環境学堂・学舎長を務めておられました。

これらの研究室は京土会の皆さまよりご支援を賜りまして、順調に発展を遂げてまいりました。ここに改めて心より感謝申し上げますとともに、引き続き、ご支援のほどをよろしくお願いいたします。

都市環境工学専攻関連教員一覧（39名）

大学院	専攻	講座名	分野名	教授	准教授	講師	助教
工学研究科	都市環境工学	環境デザイン工学* (桂)		高岡 昌輝	大下 和徹	水野 忠雄	藤森 崇 日下部武敏
		環境衛生学 (桂)		高野 裕久	上田 佳代		本田 晶子
		環境システム工学 (桂)	水環境工学		西村 文武		日高 平
			環境リスク工学	米田 稔	島田 洋子		
			大気・熱環境工学		倉田 学児		
			都市衛生工学	伊藤 禎彦	越後 信哉		浅田 安廣
		物質環境工学	環境質管理 (流環)	清水 芳久	松田 知成		
			環境質予見 (流環)	田中 宏明		山下 尚之	中田 典秀 井原 賢
			環境保全工学 (環科)	酒井 伸一	平井 康宏		矢野 順也
			安全衛生工学 (環科)	橋本 訓	松井 康人		
			放射能環境動態 (原実)		藤川 陽子		窪田 卓見
			放射性廃棄物管理 (原実)		福谷 哲		池上麻衣子
地球環境学大学院	地球親和技術学廊		環境調和型産業論 (吉田)	藤井 滋穂	田中 周平		原田 英典 鈴木 裕識
エネルギー科学研究科	エネルギー社会・環境科学	エネルギー社会環境学	エネルギー環境学 (吉田)	東野 達	亀田 貴之		山本 浩平

*：地球環境学堂との兼任（2016年6月1日現在）

当専攻の近況のひとつとして、アジアを中心とした国際的活動について報告させていただきたいと思います。中国の清華大学深圳キャンパスに拠点オフィスを2005年に開設しました。日本学術振興会グローバルCOE「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」、および科学技術戦略推進費戦略的環境リーダー育成拠点形成事業「環境マネジメント人材育成国際拠点」通称EMLの各事業によって発展させることができ、昨年度10周年を迎えました。10周年記念式典を2015年9月京都、12月深圳で開催しております。マレーシアのマラヤ大学キャンパス内オフィスは、2010年に開設しました。日本学術振興会アジア研究教育拠点事業「リスク評価に基づくアジア型統合的流域管理のための研究教育拠点」は2015年度までで終了しましたが、マレーシア側の強い要請もあって、今後も維持していく予定であります。ベトナムのハノイ理工科大学キャンパス内にもオフィスを設け、常駐の教員や研究員を配置しながら、教育・研究活動の拠点として活用してまいりました。これらの拠点は各種フォローアップ経費や総長裁量経費、全学経費、民間企業からの寄付金などによって維持しておりまして、今も活発に活動を続けております。今後とも京土会の皆さまよりご支援を賜りまして、これらの活動を充実させていきたいと考えております。

中国・深圳拠点オフィス

(清華大学深圳キャンパス内)2005年開設
2012年度のGCOEやEML終了後も民間企業からの寄付や総長裁量経費で維持。10周年記念式典を2015年9月京都、12月深圳で開催。



マレーシア拠点オフィス

(マラヤ大学内)2010年開設
JSPSアジア研究教育拠点事業「リスク評価に基づくアジア型統合的流域管理のための研究教育拠点」(2011年度～2015年度)



ベトナム・ハノイ拠点オフィス

(ハノイ理工科大学内)2008年開設
2012年度のGCOEやEML終了後も学堂を中心とした全学経費や概算要求特別経費などで維持



最後に就職状況についてご報告申し上げます。この表に示しますとおり、昨年度就職した卒業、修了生は48名でした。その内訳としては、まず、国家公務員2名、地方公務員5名でありました。国立開発研究法人、独立行政法人へ就職した者が2名です。民間では化学プラントメーカーや環境装置メーカー、コンサルタントなどが引き続き多くなっておりまして、自由応募が主流となっております最近の就職活動を反映して、同一企業に複数名が就職するケースが目立つことが近年の特徴ではないかと思えます。

平成28年度卒業・修了予定者の就職につきましても、現在、選考を進めていただいているところではありますが、引き続きよろしくお願いいたします。

以上、都市環境工学専攻の近況を簡単にご報告させていただきました。引き続き、ご鞭撻ならびにご支援いただき

平成27年度卒業・修了生の進路

就職した卒業・修了生: 48名

公務員:

環境省、警察庁、京都府(2)、滋賀県、鹿児島県、京都市

国立開発研究法人、独立行政法人:

日本原子力研究開発機構、JICA

民間:

三菱重工環境・化学エンジニアリング(2)、みずほ情報総研(2)、クボタ(2)、大阪ガス(2)、中日本高速道路(2)、DOWAホールディングス、JFEスチール、いすゞ自動車、伊藤園、王子エンジニアリング、オルガノ、(株)TSP、(株)プランテック、建設技研インターナショナル、五洋建設、資生堂、タクマ、竹中工務店、月島機械、東京ガス、東芝環境ソリューション、東洋新薬、日本航空、日立造船、堀場製作所、三浦工業、三菱商事、リクルートジョブズ、国際石油開発帝石(株)、三菱UFJリサーチ&コンサルティング、川崎重工、日産、日本下水道事業団

ますようよろしくお願いいたします。

(2) 人事異動（平成27年10月～平成28年10月）

(職名は異動後の職名、但し（ ）内は異動前の職名）

【社会基盤工学専攻】

H27.10.1	鳥生 大祐	助 教	新規採用
H27.10.16	黄 千紋	特定研究員	新規採用
H28.3.31	田村 正行	(教 授)	定年退職
H28.4.1	金 哲佑	教 授	社会基盤工学専攻構造工 学講座国際環境基盤マネ ジメント分野と国際高等 教育院の併任へ配置換
H28.4.1	橋本 勝文	特 定 講 師	新規採用
H28.6.1	志村 智也	助 教	新規採用
H28.9.30	久保田善明	(准教授)	辞職(富山大学大学院理 工学研究部教授へ)

【都市社会工学専攻】

H28.2.1	大西 正光	准 教 授	都市社会工学専攻都市社 会計画学講座計画マネジ メント論分野助教より防 災研究所巨大災害研究セ ンター准教授へ配置換
H28.3.31	谷口 栄一	(教 授)	定年退職
H28.3.31	大友 有	(特定助教)	辞職(大阪大学大学院言 語文化研究科言語社会専 攻特任講師へ)
H28.3.31	中村 有克	(助 教)	辞職(滋賀県(技師)へ)
H28.3.31	山崎 浩気	(助 教)	辞職(㈱地域未来研究所 研究員へ)
H28.3.31	神田 佑亮	(准教授)	辞職(㈱オリエンタルコ ンサルタンツ関西支店技 術主幹へ)
H28.3.31	CHARATPANGOON BHUDDARAK	(助 教)	辞職
H28.4.1	宇野 伸宏	准 教 授	都市社会工学専攻交通マ ネジメント工学講座交通 情報工学分野と経営管理 研究部の併任より配置換
H28.4.1	山田 忠史	准 教 授	都市社会工学専攻ロジス ティックシステム工学講 座と経営管理研究部の併 任へ配置換
H28.4.1	澤田 茉伊	助 教	新規採用
H28.10.1	瀬木 俊輔	助 教	新規採用

【都市環境工学専攻】

H27.10.1	鈴木 裕識	助 教	新規採用
H27.10.15	河瀬 玲奈	(助 教)	辞職(滋賀県琵琶湖環境 科学研究センター研究員 へ)

H27.10.16	HaK Mao	特定研究員	新規採用
H28.3.31	松岡 譲	(教 授)	定年退職
H28.3.31	馬 寅	(特定研究員)	辞職
H28.3.31	NGUYEN, Hoa Thai	特定研究員	契約更新
H28.3.31	日下部武敏	(特定研究員)	任期満了
H28.3.31	HaK Mao	(特定研究員)	退職
H28.3.31	花本 征成	(特定研究員)	辞職
H28.4.1	松井 康人	准 教 授	都市環境工学専攻環境シ ステム工学講座環境リス ク工学分野より京都大学 環境安全保健機構安全管 理部門へ配置換
H28.4.1	日下部武敏	助 教	新規採用
H28.4.1	井原 賢	特 定 助 教	新規採用
H28.4.1	李 善太	特定研究員	新規採用
H28.7.1	日高 平	講 師	都市環境工学環境シス テム工学講座水環境工学 分野助教より昇任
H28.10.1	五味 良太	助 教	新規採用

【地球系事務室】

H28.4.1	上西 正人	課長補佐兼掛長	教育推進・学生支援部厚 生課長補佐(課外活動主 査兼課外活動掛長)より 工学研究科教務課課長兼 掛長(Cクラスター事務 区教務第一掛)へ配置換
H28.4.1	荒木 茂	掛 長	工学研究科Cクラスター 事務区教務第一掛より教 育学研究科教務教務掛へ 配置換
H28.4.1	上木 正博	掛 長	学術協力課専門職員産学 交流掛より工学研究科教 務掛地球工学科教務課専 門職員へ配置換
H28.4.1	藤森 隆志	課 長 補 佐	教育推進・学生支援部学 生課長補佐より工学研究 科地球工学科教務課課長 補佐へ配置換
H28.4.1	宇都宮智美	事 務 職 員	工学研究科教務課教務掛 地球工学科より医学研究 科教務掛(人間健康科学 科)へ配置換
H28.4.1	勝原 江里	事 務 職 員	北部構内経理課第二運営 費・寄付金掛より工学研 究科経理事務センターC クラスター事務区会計第 一掛へ配置換
H28.8.1			Cクラスター庶務第一掛 よりCクラスター庶務掛 へ掛名変更
H28.8.1			Cクラスター会計第一掛 よりCクラスター会計掛 へ掛名変更

H28.10.1	當麻 公子	専門職員	教育推進・学生支援部国際教育交流課企画・管理掛長より工学研究科経理事務センターCクラスター会計掛へ配置換
H28.10.1	西坂 加奈	主任	吉田南構内共通事務部経理課経理掛より工学研究科経理事務センターCクラスター会計掛へ配置換
H28.10.1	田口 真也	事務職員	工学研究科経理事務センターCクラスター会計掛より医学部付属病院経理・調達課契約掛へ配置換
H28.10.1	大森美有紀	主任	企画・情報部情報推進課総務掛より工学研究科Cクラスター庶務掛へ配置換
H28.10.1	袖岡 亜季	事務職員	教育推進・学生支援部国際教育交流課留学生支援掛より工学研究科Cクラスター事務区教務第一掛へ配置換
H28.10.1	横田 夏子	主任	工学研究科Cクラスター事務区教務第一掛より人間・環境学研究科教務掛へ配置換
H28.10.1	井田真理子	事務職員	工学研究科教務課教務掛地球工学科より工学研究科教務課教務掛電気電子工学科へ配置換

(3) 学位授与 (平成27年11月24日～平成28年9月23日)
(課程博士)

川口 佳彦	H27.11.24	水道水中の極低濃度遊離塩素測定法とカルキ臭に由来する臭気強度推定法の開発	田中 智大	H28.9.23	降雨の時空間分布を考慮した洪水極値頻度解析と水害リスクカーブ作成手法の開発 (英文)
ZHOU LIANG	H27.11.24	カルキ臭低減型浄水処理プロセスにおける定量的微生物リスク評価 (英文)	小谷 仁務	H28.9.23	社会ネットワークとアイデンティティの形成過程に着目した地域資産の機能評価に関する研究 (英文)
Bounhieng Vilaysane	H28.1.25	ラオス国セドン川における水文への気候変化の影響に関する統合的評価手法に関する研究 (英文)	長谷川延広	H28.9.23	断層横断管路の耐震設計手法に関する研究
田上 貴士	H28.3.23	維持管理費用を考慮した最適高速道路料金政策に関する研究	李 元拓	H28.9.23	高速鉄道旅客の経時的需要適合および長期利用パターンに関する研究 (英文)
河田 暢亮	H28.3.23	貯水池堆砂量予測のための流域土砂動態モデルの開発に関する研究	林 訓裕	H28.9.23	長期間供用により経年劣化した道路橋免震ゴム支承の耐震性能評価に関する研究
AHMED ABD ELHAMEED MOHAMED ALY EL-DIEN	H28.3.23	粘着性土を有する河岸の浸食と崩壊のモデル化 (英文)	武田 茂樹	H28.9.23	高効率固液分離技術を活用した流入下水のアナモックス処理法の開発研究
増田 有俊	H28.3.23	Xバンド偏波レーダによる積乱雲の構造解析を基礎にした降水セルのライフステージ判別と局地的豪雨予測手法の開発に関する研究	Thuangsit DENPETKUL	H28.9.23	土壌浸透処理を介した再生水飲用に伴う病原ウイルスの感染リスク評価 (英文)
胡 茂川	H28.3.23	流域水収支と水文極値に対する気候変動及び人間活動の影響 (英文)	HE, KAI	H28.9.23	土壌浸透処理における医薬品類の除去機構 (英文)
松宮 央登	H28.3.23	4 導体送電線のギャロッピング現象の解明と制振対策に関する研究	Nguyen Thanh Dien	H28.9.23	残留性有機汚染物質の大気挙動と制御方策：ポリ臭素化ジフェニルエーテルとペンタクロロフェノールの事例研究 (英文)
尾花 恭介	H28.3.23	公共事業の社会的受容に関する人々の情報処理過程と受容改善に向けた取り組みについての考察	PARK JUN WON	H28.9.23	膜分離活性汚泥法における残留医薬品類の除去特性と予測モデルの開発 (英文)
William James PRINGLE	H28.3.23	双方向結合マルチスケールモデルによる波源から沿岸域までの津波解析 (英文)	五味 良太	H28.9.23	河川水中大腸菌の起源、病原性及び薬剤耐性に関する分子生物学的研究
白 承志	H28.3.23	自然言語処理技術を用いた大震災時のクライシス・コミュニケーションに関する研究 (英文)	(論文博士) Nguyen Dinh THAO	H28.1.25	ベトナムにおける舗装マネジメントシステムの実装に関する研究 (英文)
澤田 茉伊	H28.3.23	地盤工学に基づく歴史的な地盤構造物の修復と保存に関する研究	Bui Trinh	H28.1.25	ベトナムにおけるインフラ開発評価のための産業連関システムに関する研究 (英文)
田中 皓介	H28.3.23	公共事業を巡る報道と世論についての実践的科学研究	鈴木 博人	H28.3.23	降雨時の列車運転規制のための大雨の空間分布特性を考慮した降雨量の観測方法に関する研究
高原 省五	H28.3.23	原子力発電所事故後の汚染地域における住民の被ばく線量評価と管理に関する研究	鈴木 彰一	H28.3.23	ITSを用いた大型貨物車交通マネジメントに関する研究
崔 永强	H28.3.23	土壌汚染調査と浄化のための、地球統計学と遺伝アルゴリズム手法を用いた費用効果戦略 (英文)	田鎖 順太	H28.7.25	睡眠影響評価のための夜間騒音指標の開発 - 神経生理学的数理モデルに基づくアプローチ
大隅省二郎	H28.3.23	省エネルギーおよび汚泥発生量削減を考慮した高濃度有機物含有排水処理法に関する研究			
川端祐一郎	H28.7.25	公共政策における物語型コミュニケーションに関する理論的・実証的研究			
Donpapob Manee	H28.9.23	気候変動がタイの大ダムにおける貯水量と貯水池操作に与える影響について (英文)			
Atrida Hadiani	H28.9.23	アメニティと防災性を考慮した河川景観デザインに対する経済性評価：インドネシア、ジョグジャカルタ市を対象として (英文)			

(4) 学生の進学・就職状況

平成27年度の大学院および学部学生の進学就職状況は次の通りである。(H28.10.1)

(尚、総会時、各学科専攻長報告の数より若干変更有)

	大 学 院		大 学 院		学 部	
	(博 士)		(修 士)		(4 回生)	
博士課程			社基 都環 学舎	6 3 1		
修士課程					地球	129
研究生・その他 (他大学)					地球	2
学校関係	社基 都社 都環 情報 エネ科	4 4 3 1 1	情報	1		
環境省			都環	1		
農林水産省	都社	1				
国土交通省			社基 都社	3 3	地球	1
内閣府			都環	1		
独立行政法人	都社	1	社基 都環	1 2		
都道府県	エネ科	1	社基 都社 都環	2 2 2	地球	2
市町村			社基 都社 都環	2 1 1		
協会	社基	1				
道路	都社	1	社基 都社 都環 情報	5 4 2 1		
鉄道・航空			社基 都社 都環 学舎	9 4 1 1	地球	1
電力・ガス			社基 都社 都環	5 4 3		
建設会社	都環 学舎	1 2	社基 都社 都環 学舎	10 7 2 1		
鉄鋼・鉄構・機械・ 電機・電子	都環 学舎	1 2	社基 都社 都環 学舎 エネ科	5 3 8 1 3		

	大 学 院		大 学 院		学 部	
	(博 士)		(修 士)		(4 回生)	
コンサルタント	社基 都社	1 3	社基 都社 都環 学舎	3 8 2 2	地球	2
環境産業			都環	4		
銀行・商社・ 証券・保険			社基 都社 エネ科	4 2 1	地球	7
不動産			社基 都社	1 1		
シンクタンク			都環	2		
各種外郭団体 (地方公社・事業団含む)			都社	2		
情報通信			社基 都社 学舎 情報	3 5 1 3	地球	1
サービス業・ その他	社基 都社 都環 学舎	5 2 1 3	社基 都社 都環 学舎 エネ科	3 5 5 1 1	地球	9
合計	社基 都社 都環 学舎 情報 エネ科	11 12 6 7 1 2	社基 都社 都環 学舎 情報 エネ科	62 51 39 8 5 5	地球	154
		39		170		154

(5) 国際コースと留学生

工学研究科では、博士後期課程への留学希望者の増加に応じて多くの留学生を受け入れてきたが、教育指導は基本的に日本語を用いて行われているため、優秀な学生でも言語の障壁のため本研究科への応募を躊躇することが数多くあった。このような問題に対応するため、平成13年度から平成24年度まで英語のみを使用する博士後期課程総合工学特別コースが実施された。さらに、社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻では修士課程を対象とする国際コース、工学部地球工学科では学部生を対象とする国際コースを平成23年4月から開設している。